

報告 7月18日

高浜町長、おおい町長、美浜町長に 公開質問状を提出

「原発うごかすな！実行委員会@関西・福井」は、7月18日、若狭の原発の運転や再稼働について、大きな発言力を持つ、高浜町、おおい町、美浜町の町長に、公開質問状と特別質問状提出しました。公開質問状では、原発の存続、使用済み核燃料、老朽原発運転、重大事故時の住民避難、原発に依存しない町づくりなどについて尋ね、特別質問状では、地震時の原発停止について尋ねています。

公開質問とした理由は、この質問状を、若狭や周辺自治体および広く関西をはじめとする全国に配布し、原発立地・若狭や原発電気を利用してきた関西、全国の皆さんが、原発の是非、原発後の社会を考える端緒にしていただければ幸いと考えるからです。

これらの質問状は、8月15日を回答期限としています。回答があり次第、その内容をチラシにして皆様にお知らせいたします。

高浜町長、おおい町長、美浜町長の姿勢は、当該自治体の住民だけでなく、さらに広域（例えば、関西一円）の住民の大きな関心事であり、生活や生存の権利をも左右するものです。これらの町長の回答にご注目ください。

公開質問状の提出にあたって、美浜町では、エネルギー政策課、防災・原子力対策室の課長、課長補佐ら3人、高浜町では、防災安全課の課長補佐ら2人、おおい町では総合政策課などの課長2人、課長補佐2人など5人が対応しましたが、何れも丁寧な対応で、中には、「原発後の社会を考える」ような発言もありました。

原発巡る質問状
嶺南3町へ提出
反対団体
原発団体の「原発動かすな！実行委員会@関西・福井」が18日、原

発の現状や将来に関する公開質問状を県内の原発立地町のおおい、高浜の3町に提出した。質問状では、若狭地域の住民からの聞き取り調査で「原発は不安」など

の声が多かったとし、脱原発や原発が民意だと強調。また原発の安全性や使用済み核燃料問題、脱原発に向かう世界の情勢について指摘している。その上で原発の展望

について質問している。おおい町役場には同団体のメンバー11人が訪れて提出。総合政策課と総務課の課長ら5人に質問状を読み上げて意見を述べた。

(小柳慶祥)

2018年7月19日
福井新聞朝刊

◆市民団体が公開質問状提出
「原発うごかすな！実行委員会@関西・福井」が18日、関西電力の原発が立地する美浜、おおい、高浜の各町長あてに原発

の現状や将来についての質問状を出した。原発について「近い将来なくなる、またはなくなったほうがよい」か、「存続する、または存続させたい」かを尋ねた上で、使用済み核燃料や放射性廃棄物の処理、今後のまちづくりなどについてたたずいた。8月15日までに回答するよう求め

ている。美浜町役場では、団体のメンバーが町の担当者に質問状を渡した。メンバーの木原壮林さんは「老朽原発が廃炉になる中で、今後のまちづくりをどう考えるのか。原発を巡る問題について多くの人に関心を持ってほしい」と話した。

2018年7月19日
朝日新聞朝刊

定期点検中の高浜原発4号機、8月21日に起動？

関電は7月17日、定期検査中の高浜原発4号機について、検査工程の変更申請を原子力規制委員会に届け出ました。9月15日としていた発電・送電開始を8月24日に前倒しするという事です。

今回の定検中に見つかった蒸気発生器の細管2本のひび割れの補修工事が、7月中に終わるめどが立ったため、工程を変更するのだそうです。8月18日からの予定だった燃料装荷は7月25日に始めるといわれています。通常、発電・送電の2、3日前に原子炉を起動させますから。8月21日（火）に起動（いわゆる再々稼働）の可能性が大きい。この予定で起動を許せば、9月19日に営業運転を再開することになります。

(なお、運転中の高浜3号機は8月3日から定期検査に入る予定です)。

起動を阻止し、このまま廃炉に追い込もう！

裏面に高浜原発4号機起動（再々稼働）阻止行動のご案内があります。

高浜原発4号機起動（再々稼働）阻止！

高浜現地抗議行動

高浜原発4号機起動（再々稼働）の当日（8月21日あるいは22日）、高浜町現地で抗議デモ、高浜原発ゲート前抗議集会を展開します。

日時；8月21日あるいは22日（確定し次第お知らせします）、正午。

場所；高浜原発から音海地区側に 300 m の展望所に集合後、デモでゲート前へ。

主催；原発うごかすな！実行委員会@関西・福井

たとえ稼働は許しても、反原発運動の意義は大きい！

昨年来、高浜原発、大飯原発の再稼働を許してしまったことは悔しいことですが、それでも、私たちは、私たちの行動も含め、数多く展開された脱原発・反原発の行動は一定の勝利を収めていると総括しています。それは、以下の理由によります。

- ① 私たちの運動も含めた広範な反原発の闘いのために、傲慢な電力会社といえども、原発を動かそうとするとき、多額の費用を要する安全対策を施さざるを得なくなり、それが、原発重大事故を防いでいるとも言えます。大衆運動がなければ、電力会社は多額の費用を要する安全対策もせずに、老朽原発を含む原発を次々に動かし、重大事故の確率は格段に高くなっていただいでしょう。
- ② 電力会社は、安全対策費がとくにかさむ老朽原発の廃炉を決意せざるを得なくなっています。昨年未からでも老朽な大飯原発 1、2 号機、伊方原発 2 号機の廃炉が決定、福島第 2 原発 4 基の廃炉が表明されました。福島事故時に 54 基あった原発のうち 19 基の廃炉が決定したことになります。
- ③ 国際的な安全対策費の高騰は、企業の原発から撤退を促しています。東芝が破綻し、米国の原発建設から撤退し、伊藤忠がトルコの原発建設計画から撤退すると報道されています。
- ④ 反原発の大きな声が、裁判闘争を後押しし、司法を動かしています。福井地裁、大津地裁、広島高裁での原発運転差止め決定など司法での勝利も、福島原発事故後、格段に多くなっています。
- ⑤ 現地での行動は、原発再稼働に抗議するだけでなく、表にはでていないものの、若狭に広範に存在する「原発は嫌だ」の声に呼応し連帯するものです。脱原発の声は、徐々に顕在化しています。

以上のように、反原発の大衆運動は、原発重大事故の防止、老朽原発の廃炉、原発からの企業の撤退、に貢献し、裁判闘争の勝利にも貢献しています。

さらに反原発運動を高揚させれば、必ず原発全廃を勝ち取れます。

断固とした、高浜原発起動阻止行動に起ちましよう！

8. 25 高浜原発このまま廃炉！

関電包囲全国集会

日時；8月25日（土）15:00 から 16:00

場所；関西電力本店前（大阪市北区中之島）

（集会終了後うつぼ公園に移動して、同公園から御堂筋デモ）

主催；原発うごかすな！実行委員会@関西・福井

呼びかけ；「オール福井反原発連絡会（原子力発電に反対する福井県民会議、サヨナラ原発福井ネットワーク、福井から原発を止める裁判の会、原発住民運動福井・嶺南センター、原発問題住民運動福井県連絡会で構成）」、「若狭の原発を考える会」、「ふるさと守る高浜・おおいの会」

連絡先；宮下正一（原子力発電に反対する福井県民会議、0776-21-5321）

木原壮林（若狭の原発を考える会、090-1965-7102）

定期点検中の高浜原発 4 号機をこのまま廃炉にしよう！

電力消費地での「原発電気 NO！」の声を拡大しよう！

関電に原発を断念させよう！